

社内委員会 令和4年度活動報告

委員会名	ハラスメント予防委員会
委員会メンバー	委員長：梅木雅宏（グループ管理部 販売管理課 和光事業所） 副委員長【前半】：岡部 真紀（フードサービス部 リテール事業課） 深田 忍（㈱アグリス・ワン センター管理課 牛と畜ライン） 副委員長【後半】：柳 隆（フードサービス部 福島工場） 猪又 亮二（ミートパッカー部 東京事業所 販売担当） 書記【前半】：加藤 綾乃（グループ管理部 販売管理課） 島廻 和馬（ミートパッカー部 製造課） 書記【後半】：大里 有貴（品質保証室 品質管理課 相模原工場） 庭野 拓巳（フードサービス部 新潟第2工場デリカセンター） 委員：橋本 美咲（グループ管理部 販売管理課 鶴ヶ島工場） 瀬角 淳（ミートパッカー部 神奈川事業所）※島廻委員の後任
活動期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
活動目的	職場内でのハラスメント行為を予防するために、現状把握、予防に向けた対策等の検討を行い、外国人労働者も含め全従業員が働きやすい職場環境作りを目指す。
委員会開催数	全 11 回

【活動報告】

- 第6回開催（令和4年4月27日）：ハラスメント防止規定・相談窓口・目安箱設置の通知文書配布を決定
→【実行】5月給与時に通知文書配布（アグリスワンは6月給与時）
- 第7回開催（令和4年5月26日）：ハラスメント防止ポスターを各事業所・工場にて掲示する事を決定
→【実行】6月に各事業所・工場にて掲示
- 第8回開催（令和4年6月22日）：相談を受けた際の対応マニュアル・ハラスメント講習について検討
- 第9回開催（令和4年7月20日）：①委員会による相談対応の中止が決定（会社決定）②委員会による相談対応中止に伴うハラスメント防止規定の改定・目安箱→なんでも意見箱への変更・委員会の活動内容見直しを決定
→【実行】9/1付でハラスメント防止規定の改定・ハラスメント担当役員設置（阿部取締役）、10月になんでも意見箱を各事業所・工場へ設置
- 第10回開催（令和4年8月18日）：副委員長及び書記の役職変更・今後は予防の観点から活動を行う事を決定
- 第11回開催（令和4年9月22日）：社内アンケート調査実施を決定
- 第12回開催（令和4年10月20日）：社内アンケート調査の実施スケジュール（実施～結果公表まで）を決定
→【実行】11月に各事業所・工場にてアンケート調査の実施・集計、12月に集計結果公表
- 第13回開催（令和4年11月30日）：ハラスメント予防の為の研修実施を決定
→【実行】12月下旬にアグリスワンにて研修を先行実施、その他の事業所・工場は3月末までに実施。
- 第14回開催（令和5年1月18日）：ハラスメントに関する規則・規定の見直し実施を決定
→【実行】ハラスメントに関する規則・規定の見直しを実施するも、追記・修正等は発生せず。
- 第15回開催（令和5年2月24日）：パワハラ6類型ポスターを各事業所・工場にて掲示、ラインコミュニティ・従業員サイトでの周知を決定
→【実行】3月初めにポスター掲示、ラインコミュニティ・従業員サイトでの周知を実施
- 第16回開催（令和5年3月15日）：活動総括（1年半を振り返って）

【総括】

活動の成果としては、ハラスメント防止規定の制定・ポスター掲示や LINE コミュニティ等での周知活動・社内アンケートの実施及び集計結果の公表・ハラスメント予防研修の実施があげられます。

途中で活動内容の見直しを余儀なくされる事態となりましたが、気持ち新たに委員一丸となり取り組んだ結果と思っております。

従業員への認知度・理解度の向上とそれに伴う意識変化を感じるようになりましたが、この後が大切だと思います。

考えられる今後の課題・取組を次期委員会へ引継ぎ、必要に応じて前委員としてフォローしてまいります。

【今後の課題・取り組み】

① 従業員への周知・啓蒙活動の継続的な実施

・社内アンケート調査の結果、まだまだ従業員のハラスメントに対する認知度・理解度が足りない事が分かったので継続的に実施していく事が必要と考えます。

② 自社での掲示用ポスター制作

・ネットで画像やイラストを検索しても、その多くは著作権の関係で使用する事が出来ません。継続的に周知活動を行っていくうえで効果的かつ必要なポスターを自社で作成する事が必要と考えます。

③ 管理者向けのハラスメントを予防する為の研修実施

・今期は従業員向けの基本的な内容にて研修を実施しましたが、今後は管理者目線で職場内のハラスメントをどう予防していくか、適切な部下への接し方・指導の仕方などを学ぶ必要があります。